

平成 26 年度

公立大学法人静岡文化芸術大学  
事業報告書

# 平成 26 年度公立大学法人静岡文化芸術大学事業報告

平成 26 年度の事業については、第 1 期中期計画の最終前年度であることを踏まえ、その達成に向けて、これまでの事業内容と進捗状況を検証し、本学の将来を見据えて、教育の充実、学生支援の充実、研究の推進、地域貢献及び国際交流の推進、FD・SD活動の推進等を重点に置いて、次のとおり実施した。

## 1 法人運営管理

### (1) 役員会、経営審議会、教育研究審議会及び参与会の開催等

#### ア 役員会

役員会を 13 回開催し、法人及び大学の管理・運営に関する事項を審議した。

回数	開催日	議案等
第 1 回	4 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 公立大学法人静岡文化芸術大学期間契約職員就業規程の一部改正について</li><li>・ 受託事業について</li></ul>
第 2 回	5 月 14 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 静岡文化芸術大学学則の一部改正について</li><li>・ 招聘客員教授の任用について</li><li>・ 受託事業について (協議事項)<ul style="list-style-type: none"><li>・ 平成 25 年度 年度実績(案)について</li></ul></li></ul>
第 3 回	6 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 平成 25 年度 事業報告(案)及び決算報告(財務諸表等)(案)について</li><li>・ 平成 25 年度 実績報告(案)について</li><li>・ デザイン学部 3 学科の学生募集の停止について</li><li>・ 専任教員の採用募集について</li><li>・ 受託事業について</li></ul>
第 4 回	7 月 7 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 受託事業について</li></ul>
第 5 回	8 月 20 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 平成 26 年度 収支補正予算(案)について</li><li>・ 非常勤講師の委嘱について</li><li>・ 理事長の専決処分の承認について(非常勤講師の委嘱)</li><li>・ 特任教授の任用について</li><li>・ 受託事業について</li></ul>
第 6 回	9 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 公立大学法人静岡文化芸術大学将来構想検討委員会規程の一部改正について</li><li>・ 任期付教員の再任について</li><li>・ 特任教授の任用について</li><li>・ 受託事業について</li></ul>
第 7 回	10 月 8 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 公立大学法人静岡文化芸術大学ハラスメント防止に関する規程の一部改正について</li><li>・ 公立大学法人静岡文化芸術大学臨時職員就業規程の一部改正について</li><li>・ 理事長の専決処分の承認について(非常勤講師の委嘱)</li><li>・ 受託事業について</li></ul>

回数	開催日	議案等
第 8 回	11 月 12 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公立大学法人静岡文化芸術大学臨時職員就業規程の一部改正について</li> <li>・ 専任教員の採用について</li> <li>・ 非常勤講師の委嘱について</li> <li>・ 受託事業について</li> </ul>
第 9 回	12 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 26 年度 収支補正予算（案）について</li> <li>・ 平成 27 年度 予算編成基本方針（案）について</li> <li>・ 公立大学法人静岡文化芸術大学役員報酬規程の一部改正について</li> <li>・ 公立大学法人静岡文化芸術大学職員給与規程及び教員給与規程の一部改正について</li> <li>・ 特任講師の採用について</li> <li>・ 非常勤講師の委嘱について</li> <li>・ 受託事業について</li> </ul>
第 10 回	1 月 14 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員の採用募集について</li> <li>・ 特任講師の採用について</li> <li>・ 特任講師の選考採用実施方針（案）について</li> <li>・ 非常勤講師の委嘱について</li> </ul>
第 11 回	2 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公立大学法人静岡文化芸術大学における公的研究費等の取扱いに関する規程の制定について</li> <li>・ 公立大学法人静岡文化芸術大学公的研究費等の不正に係る調査手続等取扱規程の制定について</li> <li>・ 公立大学法人静岡文化芸術大学の研究活動における不正防止に関する規程の制定について</li> <li>・ 公立大学法人静岡文化芸術大学学生懲戒規則の制定について</li> <li>・ 特任講師の採用について</li> <li>・ 非常勤講師の委嘱について</li> </ul>
第 12 回	3 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 静岡文化芸術大学学則の一部改正について</li> <li>・ 静岡文化芸術大学大学院学則の一部改正について</li> <li>・ 公立大学法人静岡文化芸術大学組織規則の一部改正について</li> <li>・ 静岡文化芸術大学教授会規則の一部改正について</li> <li>・ 静岡文化芸術大学大学院研究科教授会規則の一部改正について</li> <li>・ 非常勤講師の委嘱について</li> </ul> <p>(協議事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 27 年度 事業方針（案）について</li> <li>・ 平成 27 年度 年度計画（案）について</li> <li>・ 平成 27 年度 当初予算（案）について</li> </ul>

回数	開催日	議案等
第13回	3月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度 事業方針（案）について</li> <li>・平成27年度 事業計画（案）について</li> <li>・平成27年度 年度計画（案）について</li> <li>・平成27年度 当初予算（案）について</li> <li>・平成26年度 収支補正予算（案）について</li> <li>・有期契約職員に係る就業規程の一部改正について</li> <li>・公立大学法人静岡文化芸術大学任期付教員身分等取扱規程の一部改正について</li> <li>・事務局室名の変更に伴う関連規程の一部改正について</li> <li>・次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定について</li> <li>・名誉教授の称号授与について</li> <li>・受託事業について</li> <li>・非常勤講師の委嘱について</li> <li>・平成27年度 特別研究費及びイベント・シンポジウム開催費等の配分について</li> <li>・イズミル経済大学との交流協定締結について</li> </ul>

イ 経営審議会

経営審議会を7回開催し、法人及び大学の経営に関する重要事項を審議した。

回数	開催日	議案等
第1回	5月14日	<p>（協議事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度 年度実績（案）について</li> </ul>
第2回	6月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度 事業報告（案）及び決算報告（財務諸表等）（案）について</li> <li>・平成25年度 実績報告（案）について</li> </ul>
第3回	8月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度 収支補正予算（案）について</li> </ul>
第4回	12月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度 収支補正予算（案）について</li> <li>・平成27年度 予算編成基本方針（案）について</li> <li>・公立大学法人静岡文化芸術大学役員報酬規程の一部改正について</li> <li>・公立大学法人静岡文化芸術大学職員給与規程及び教員給与規程の一部改正について</li> </ul>
第5回	2月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立大学法人静岡文化芸術大学における公的研究費等の取扱いに関する規程の制定について</li> <li>・公立大学法人静岡文化芸術大学公的研究費等の不正に係る調査手続等取扱規程の制定について</li> <li>・公立大学法人静岡文化芸術大学の研究活動における不正防止に関する規程の制定について</li> </ul>

回数	開催日	議案等
第6回	3月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡文化芸術大学学則の一部改正について</li> <li>・静岡文化芸術大学大学院学則の一部改正について</li> <li>・公立大学法人静岡文化芸術大学組織規則の一部改正について (協議事項) <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度 事業方針(案)について</li> <li>・平成27年度 年度計画(案)について</li> <li>・平成27年度 当初予算(案)について</li> </ul> </li> </ul>
第7回	3月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度 事業方針(案)について</li> <li>・平成27年度 事業計画(案)について</li> <li>・平成27年度 年度計画(案)について</li> <li>・平成27年度 当初予算(案)について</li> <li>・平成26年度 収支補正予算(案)について</li> <li>・有期契約職員に係る就業規程の一部改正について</li> <li>・公立大学法人静岡文化芸術大学任期付教員身分等取扱規程の一部改正について</li> </ul>

ウ 教育研究審議会

教育研究審議会を12回開催し、大学の教育研究に関する重要事項を審議した。

回数	開催日	議案等
第1回	4月10日	・大学事務局組織の再編に伴う関係規程の一部改正について
第2回	5月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡文化芸術大学学則の改正について (協議事項) <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度 年度実績(案)について</li> </ul> </li> </ul>
第3回	6月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度 実績報告(案)について</li> <li>・デザイン学部3学科の募集停止について</li> <li>・本学を会場とする学会等開催申請について</li> </ul>
第4回	7月3日	・文化芸術体験演習専門部会・教養教育専門部会・実践演習専門部会の各専門部会設置細則の制定について
臨時	7月17日	・学生の懲戒処分について
第5回	8月7日	・保証人への成績通知書送付について
第6回	9月4日	・客員研究員の受入れについて
第7回	11月6日	(報告事項のみ)
第8回	12月4日	・留学等に関する業務の外部移行について

回数	開催日	議案等
第9回	1月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績通知書送付の保護者宛の文書について（協議事項）</li> <li>・文科省公的研究費及び研究不正行為に係るガイドライン改正への対応について</li> </ul>
第10回	2月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生懲戒規則の制定について</li> <li>・文科省公的研究費及び研究不正行為に係るガイドライン改正への対応について</li> </ul>
第11回	3月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度 事業方針（案）について</li> <li>・平成27年度 年度計画（案）について</li> <li>・学校教育法改正及び教育課程改正に伴う関係規程の一部改正について</li> <li>・日本語教員養成課程に関する要綱の改正について</li> <li>・進路委員会設置要綱の改正について</li> <li>・静岡文化芸術大学導入教育運営委員会設置要綱の廃止について</li> <li>・イズミル経済大学との交流協定締結について</li> <li>・アドミッションポリシーについて</li> </ul>

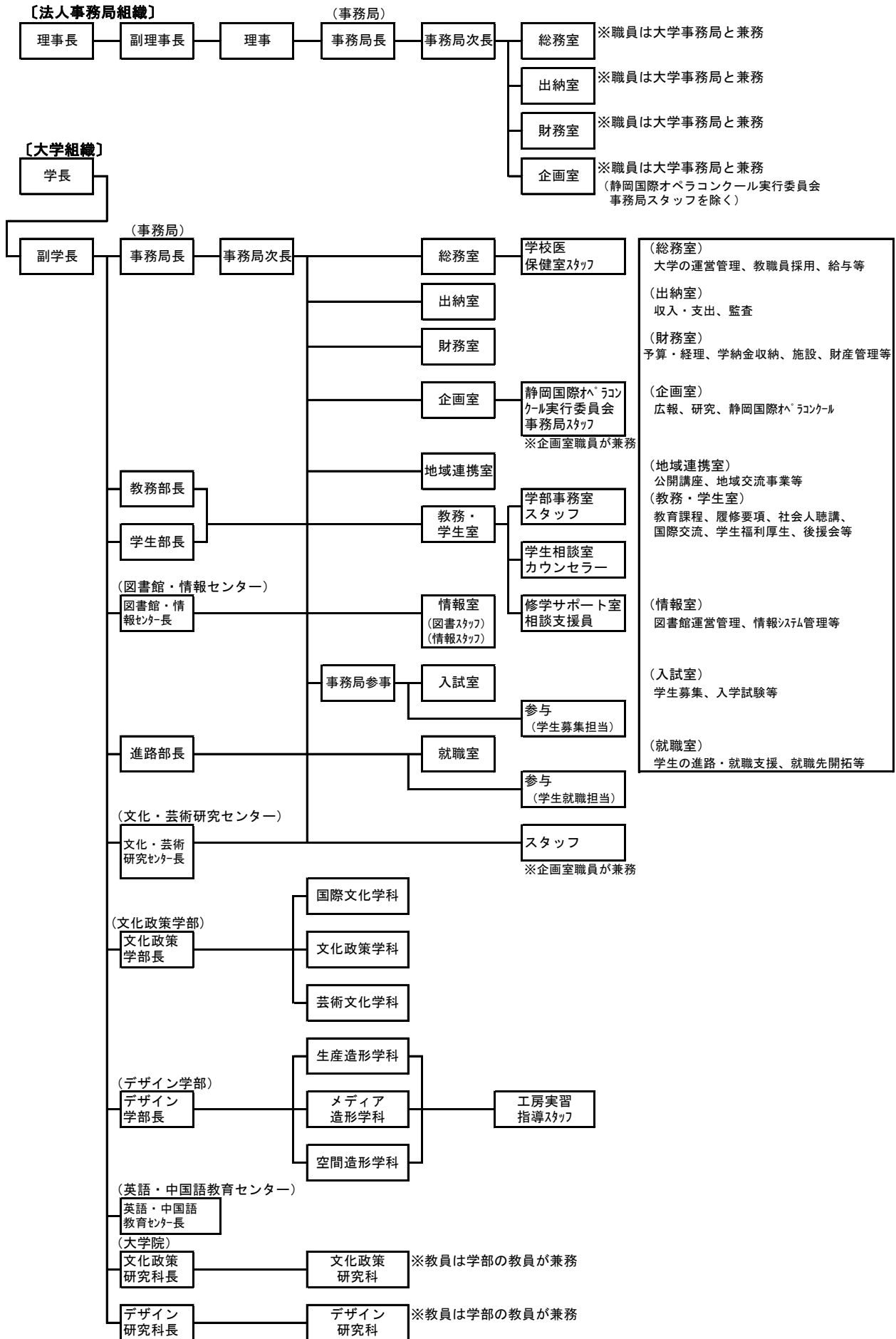
エ 参与会

法人及び大学の運営に関する外部の意見を反映するため、参与会を2回開催した。

区分	開催日	提案された主な意見等
第1回	10月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と協働で学生を育成する地域に密着した大学となることを期待する。</li> <li>・地域の発展、文化の維持向上のために、広く全国から学生を集め、より一層地域貢献に努めてほしい。</li> <li>・平成27年度からの教育課程改正、デザイン学部・学科の再編の内容を、受験生や高校側にどう周知していくかが重要である。</li> </ul>
第2回	2月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザイン学部は教育内容、進路等が分かりやすいが、文化政策学部は中身が見えにくく教育内容が伝わりにくい。教育内容が伝わりやすい名称への変更も検討すべきではないか。</li> <li>・本学の魅力を増すよう、ボローニャ大学との単位互換など国際交流の推進に力を入れてほしい。</li> <li>・地域貢献として、浜松地域の歴史・文化を学生達に教育してほしい。</li> <li>・県内の行政部門の課題等をテーマとする授業や講座があるとよい。</li> <li>・英語、中国語については英語・中国語教育センターを設置して力を入れているが、イタリア語、フランス語など他の言語についても充実するとよい。</li> </ul>

(2) 法人及び大学組織

法人及び大学組織としてそれぞれに職員を配置し、法人及び大学運営を執行した。



### (3) 運動場用地の借用等

- ・所在地：浜松市北区初生町（県有地） ・面積：8,584 m<sup>2</sup>
- ・賃借料：無償

### (4) 教職員住宅の確保

#### ア 所有住宅

- ・名称：ビオラ田町（浜松市中区田町） ・戸数：25 戸

#### イ 借上住宅

ビオラ田町に入居できない教職員で、教職員住宅を希望する者に対して、4 戸の借上住宅を提供した。

### (5) 校舎管理

ア 大学校舎の警備、清掃及び設備管理等を業者委託により実施した。

#### (ア) 主な委託業務内容

警備業務：24 時間体制の有人による警備

清掃業務：床、窓、トイレ等の定期的な清掃

設備管理：中央制御監視又は遠隔操作等による 24 時間管理体制、設備保守等は有人による管理

#### (イ) その他：電話、電気、消防用施設、昇降機、植栽等の管理業務を委託

#### イ 施設・設備の整備

施設管理業務支援システムを活用し、中長期的な視点に立った施設・設備の保全見通しに基づき、優先度の高い箇所の整備、補修を実施した。

## 2 教育研究の実施

### (1) 授業実施等

#### ア 学生の状況（学部）

（平成 26 年 5 月 1 日現在）

学部名	学科名	定員 (人)	学 生 数 (人)						
			1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	合 計		
							計	男子	女子
文化政策学部	国際文化学科	100	111	116	110	124	461	91	370
	文化政策学科	50	59	53	55	64	231	55	176
	芸術文化学科	50	57	56	54	67	234	34	200
	小計	200	227	225	219	255	926	180	746
デザイン学部	生産造形学科	40	47	44	46	45	182	52	130
	メディア造形学科	30	35	36	35	42	148	27	121
	空間造形学科	30	34	36	32	40	142	45	97
	小計	100	116	116	113	127	472	124	348
計		300	343	341	332	382	1,398	304	1,094

#### イ 学生の状況（大学院）

（平成 26 年 5 月 1 日現在）

大学院	定員 (人)	院 生 数 (人)				
		1 年生	2 年生	合 計		
				計	男子	女子
文化政策研究科	10	7	8	15	6	9
デザイン研究科	10	12	13	25	14	11
計	20	19	21	40	20	20



ウ 授業日程等

日 程	授業等
4月 4日	入学式
9日	開学記念式（開学記念日：4月13日）
10日	前期授業開始
8月2・3日	オープンキャンパス（参加数：2,462人）
8月 8日	前期授業終了（集中講義等も含む。）
10月1日	後期授業開始
11月1・2日	碧風祭
2月20日	後期授業終了（集中講義等も含む。）
3月17日	卒業式

エ F D（ファカルティ・ディベロップメント）の取組み

教育・F D委員会において、組織的に教員の授業改善・教育の質の向上の意識啓発を図るとともに、効果的なF D活動を実施した。

- ・学部情報交換会の実施
- ・授業公開・授業見学の実施
- ・学科・研究科F D研修会の実施
- ・F Dニュースレターの発行
- ・他大学等の情報収集と研修への参加
- ・新任教員研修の開催
- ・授業に関するアンケートの実施

オ 教育課程の改正等

- ・学部の教育課程改正基本方針に基づき、平成27年度からの施行に向けて、具体的な運用案を作成した。また、教育課程の改正に合わせて、ディプロマ・ポリシーに加え、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを作成した。
- ・英語等の語学教育の充実強化を図るため、平成25年度から英語・中国語教育センターを設置し、教育プログラムの検討、教員の採用、設備の整備等を行った。また、平成25年度入学者全員にTOEICブリッジテストを実施し、その結果に基づいた習熟度別クラスを編成して授業を行うとともに、学生の入学時以降の英語力伸長を正確に把握するため、英語コミュニケーションⅢ、Ⅳ及び英語上級Ⅲ、Ⅳの履修者全員にTOEIC IPテストを実施した。

カ 学籍・教務情報システムの活用

- ・平成25年度後期から導入した学籍・教務情報システムを活用して、平成26年度からはWeb履修登録、Webポータル、出席管理、課題レポート機能などの運用を開始した。

(2) 科目等履修生及び社会人聴講生の受入れ

- ア 受入時期 年2回（出願時期 前期：2月、後期：8月）
- イ 受入人数 1科目につき5人程度
- ウ 履修科目 本学開設科目のうち、科目等履修生及び社会人聴講生公開科目
- エ 履修期間 原則6ヶ月以内

オ 受講者数 (人)

区 分	前 期		後 期	
	実人数	延人数	実人数	延人数
科目等履修生	0	0	0	0
社会人聴講生	127	160	137	170
計	127	160	137	170

(3) 研究生及び委託生の受け入れ

- ア 入学時期 学年または学期初め  
 イ 研究期間 1年以内  
 ウ 研究方法 指導教員の指導を受け、研究に従事する。  
 エ 入学者数 (人)

区分	区分	1年間	半年	備考
研究生	文化政策学部	0	0	官公庁、学校及び 団体に所属する職 員
	デザイン学部	2	1	
委託生	文化政策学部	0	0	
	デザイン学部	0	1	
計		2	2	

(4) 教員研究の実施

学内特別研究費の配分方針に基づいた配分及び外部資金の活用等により、積極的な研究の推進を図った。

- ア 学内特別研究費による研究  
 ユニバーサルデザイン等の3つの重点目標研究領域を設定し、組織的、戦略的な研究活動を推進するとともに、学長等特別研究費による研究を実施した。  
 ・学長等特別研究費による研究件数 24件 配分額 33,060千円
- イ 外部資金を活用した研究  
 科学研究費補助金を活用した研究を実施した。  
 ・実施件数 24件 14,179千円  
 (新規採択3件、継続5件、期間延長2件、他機関からの転入3件、他機関研究者との分担研究10件)
- ウ 共同研究及び受託研究、受託事業  
 外部機関(企業・大学)との共同研究を実施した。  
 ・共同研究 2件 1,100千円  
 (作業工具の人間中心評価の確立、点眼容器の人間工学的研究)  
 外部機関(企業・大学・自治体)からの受託研究、受託事業を実施した。  
 ・受託研究 1件 1,201千円  
 (世界の健康に貢献する日本食の科学的・多面的検証)  
 ・受託事業 13件 11,901千円  
 (ハウスカスタマイズ商品の開発業務委託ほか)

3 大学広報及び学生募集

本学に相応しい学生を確保するため、新聞掲載等の各種広報や学校説明会等の学生募集事業を実施した。

平成26年度入試の結果概要及び平成27年度入試の実施方法の周知を広報内容の重点とし、またオープンキャンパスにおいては、入試概要説明のコーナーや個別受験相談のコーナーを設

置するなど効果的な広報を行い、参加者数は2,000人を超えた。

**(1) オープンキャンパスの実施**

- ア 開催日 8月2日(土)及び8月3日(日)
- イ 事業内容 大学説明、学科説明、模擬授業、受験相談、実技講習会等
- ウ 参加対象 高校生を中心とした受験生
- エ 参加者数 2,462人

**(2) 高校訪問等**

教職員が県内外の高校等を訪問し大学のPR等を積極的に行った。(延べ1,862件)  
 また、静岡県内国公立大学合同入試説明会(年間7回、三島・静岡・浜松・豊橋にて開催)に参加し、本県の東部地区及び愛知県三河地区を重点対象地区として積極的に広報を行った結果、当該地区から一定数の入学者を確保することができた。

- ・県東部地区 23人(H24)→28人(H25)→22人(H26)→23人(H27)
- ・愛知県 70人(H24)→75人(H25)→79人(H26)→64人(H27)

**(3) 広報媒体による大学広報**

新聞、受験雑誌、掲示広告等により入口(入学者募集)・中身(教育研究、学生生活)・出口(就職支援)に係る広報を実施した。

**(4) パンフレット等の作成**

受験生向け・一般向けの大学パンフレット、大学院パンフレット、卒業研究制作作品集(カレンダー形式)、ニュースレター(新聞記事集)等を例年どおり作成し、高校や予備校等に配付した。また、それに加えて大学広報用映像ファイル、デザイン学部の学科再編や新カリキュラムを広報するリーフレット、英語・中国語パンフレットを作成した。

**(5) Webサイトによる情報提供**

入試情報やイベント開催情報、本学学生の活躍の様子をわかりやすい形で掲載するとともに、増加しているスマートフォンユーザーへの対応を図った。また、デザイン学部の学科再編や新カリキュラムを広報する特設サイト“Change SUAC!”を制作し、広報を図った。

また、英語サイトの充実と中国語サイト、文化・芸術研究センターサイトを新設し、情報発信を行った。

**(6) 大学院の学生募集**

研究意欲のある優秀な院生を確保するため、デザイン研究科において、前年に引き続き学内推薦入試を実施し、この入試制度による入学者を2名得ることができた。

**4 入学試験の実施**

**(1) 学部学生**

- ア 募集人員 300人(入学定員と同数)
- イ 募集方法 一般選抜(前期日程・後期日程)、特別選抜(推薦入試、社会人入試、帰国生徒入試、外国人留学生入試)
- ウ 試験時期

区 分		文化政策学部	デザイン学部
一般選抜	前期日程	2月25日、26日	
	後期日程	3月12日	
推薦入試		11月22日	
社会人入試		11月22日	
帰国生徒入試		11月22日	2月25日
外国人留学生入試		11月22日	2月25日

\* 大学入試センター試験は、1月17日・18日      \* 試験会場はすべて本学

エ 入学試験結果

志願者数 1,577 人 (志願倍率 5.26 倍)  
合格者数 408 人、入学者数 359 人

(2) 大学院生

- ア 募集人員 20 人 (入学定員と同数)  
イ 試験時期

区 分		試験時期
学内推薦	デザイン研究科	6 月 13 日
A 日程	デザイン研究科	7 月 26 日
B 日程	文化政策研究科	9 月 20 日
C 日程	デザイン研究科	2 月 14 日
	文化政策研究科	

ウ 入学試験結果

志願者数 25 人 (志願倍率 1.25 倍)  
合格者数 19 人、入学者数 18 人

5 学生の支援等

(1) 進路等支援

キャリアオフィスの機能 (学生の就職相談及び就職情報の提供等) の充実を図るとともに、学生の円滑な就職活動を支援するための事業を実施した。

<第 12 期生の就職状況> (平成 27 年 3 月 31 日現在)

	卒業者数 (人)	就職希望者数 (人)	内定者数 (人)	内定率 (%)
文化政策学部	226	198	192	97.0
デザイン学部	110	89	85	95.5
計	336	287	277	96.5

ア 支援体制

就職情報の収集や発信の拡充等を図り、学生の就職活動の中心拠点となるようキャリアオフィス機能を充実した。

- (ア) キャリアオフィスの改修  
スペースを有効に活用したレイアウトへの変更や面談に適した応接室を設置するなど、閲覧や相談等で学生が利用しやすい環境を整備した。
- (イ) 個別面談の実施  
3 年生全員を対象に個別面談を行い、進路指導をするとともに、面談結果を踏まえた個別の就職支援を実施した。(324 人の学生と面談)
- (ウ) 就職ガイドブック等の配布  
就職活動の仕方などを記載した「就職ガイドブック」、内定者の報告をまとめた「就職活動体験記」を作成し、3 年生及び教職員に配布した。
- (エ) キャリアデザインセミナーの実施  
就職活動が始まる前の段階から、「自分が目指したい将来の姿」を明確化できるよう、1～2 年生向けにキャリアデザインセミナーを実施した。(延べ 64 名が参加)

イ 支援事業の実施

- (ア) 企業等訪問及び情報交換会等の実施  
県内外の企業等の訪問を行い、就職先の開拓等を図った。なお、企業訪問を担当する

専門職員により、愛知県等の県外企業への就職先の開拓や情報収集を実施した。  
また、企業等の人事担当者を招き、教職員等との情報交換会を開催した。  
(20社、31人の人事担当者が参加)

(イ) 求人依頼

静岡県内企業を中心に、全国7,739社に求人票・大学概要パンフレットを送付し、就職先の開拓を図った。

(ウ) 就職ガイダンス等の実施

- ・ 学内就職ガイダンスの実施 (全7回実施)
- ・ キャリア支援セミナーの開催  
各業界から現場で活躍されている方を招き開催した。  
(4業種の企業等から講師が来校し、延290人の学生が参加)
- ・ 合同会社説明会  
企業(50社)の採用担当者を招き、合同で会社説明会を開催した。  
(2日間で延284人の学生が参加)
- ・ 浜松地域企業セミナーの開催  
愛知県と県西部地区の8大学が合同で行う企業ガイダンスに参加した。  
(39人の学生が参加)
- ・ 県外の就職ガイダンスへの参加  
首都圏や名古屋で行われる大規模な就職ガイダンスに数多くの学生が参加できるよう、バスツアーを開催した。(79人の学生が参加)

(エ) 就職支援講座の実施

就職活動に有効な各種就職支援講座や就職関連試験を実施した。

講座名	区分	受講者数(人)
公務員試験直前講座	教養科目	16
	専門科目	12
公務員試験対策講座	教養科目	44
	専門科目	28
パソコンのMO S 試験対策講座		37
模擬面接・グループディスカッション講座		98

試験名	受験者数(人)
適性検査 (CAREER APPROACH)	305
エントリーシート対策テスト	115
秘書検定学内団体試験	34

(オ) 求人情報等の案内

学生が企業情報を収集しやすいよう整備を図った。

- ・ 企業毎のファイルにより、会社案内、求人情報を閲覧できるよう整備
- ・ 過去の卒業生の就職活動報告書をファイル化し、閲覧できるよう整備
- ・ 50万社の企業情報が収録されたCD-ROMを整備
- ・ 本学に届いた求人情報をWeb上で検索できる環境を整備

- (カ) デザイン専門職への就職支援  
 デザイン専門職を応募する際に必要なポートフォリオの作り方について、ポートフォリオ講座を実施した。
- (キ) 首都圏等での就職活動拠点の整備  
 学生が首都圏や名古屋等で就職活動をする際の拠点施設として、民間サービスを利用した支援を行った。

## (2) 学習支援

図書館の開館時間の延長、学習支援に係る奨学金を支給するなど、学生の学習環境整備や支援等を継続するとともに、英語・中国語教育センターにおいては、中国語特任講師を新たに配置し中国語教育の充実を図った。また、静岡大学情報学部との単位互換制度を活用して学びの幅をより一層拡充するよう、積極的な周知を図った。あわせて、精神面の問題を抱える学生や発達障害の学生の修学を支援するため、新たに修学サポート室を設置した。

## (3) 生活支援

生活保護世帯の学生及び経済的に困難であると認められる学生に対する学納金の減免を継続するとともに、カウンセラーによるメンタルヘルスの相談及びランチフォーラムなどの学生相互の交流の場を提供するなど、学生生活向上に結びつく相談及び指導等の支援活動を随時実施した。

## (4) その他

「静岡文化芸術大学の学生の諸活動に対する支援の取扱方針」に基づき、学生の諸活動に対して、17件 3,006千円の支援を実施した。

## 6 交流事業等の実施

### (1) 文化・芸術研究センター事業

両学部の有機的な連携のもと、文化、芸術分野等の研究、交流、情報発信などの事業を実施した。

#### ア 文化芸術セミナー、公開講座の開催

- ・ セミナー、イベント・シンポジウム、ワークショップ等

実施日	場所(会場)	内容	参加者数
6月6日 7月11日 10月17日 11月14日 12月17日	講堂	浜松 楽器の事典 第1章 浜松のピアノ産業 第2章 ピアノを作るⅠ 第3章 ピアノを作るⅡ 第4章 ピアノ調律と調律師 第5章 楽器産業と創造都市	670人
6月14日	279 講義室 280 講義室	第8回 多文化子ども教育フォーラム ～ブラジル人保護者は何を考えているか～	80人
8月4日 ～8月8日	自由創造工房	イズミル経済大学(トルコ)との デザイン交流会	30人
8月21日	講堂	UD+in はままつシンポジウム 『パーソナルモビリティ活用の課題と可能性』	232人
9月27日	176 大講義室 西ギャラリー	世界を拓いた3人展	100人
11月23日 11月24日	自由創造工房	メディアデザインウィーク 2015 プレイベント(ワークショップ)	39人
12月4日	278 講義室	平成26年度研究成果発表会	100人

実施日	場所(会場)	内容	参加者数
12月6日	学内講義室 (8会場)	So-Co 会議 in Hamamatsu ～Social で Eco なビジネスが持続的な社会をつくる～	180人
12月6日	279 講義室 280 講義室	第9回多文化子ども教育フォーラム ブラジル人カウンセラーによる子どもと保護者の心理分析	100人
1月7日	講堂	「ホール・プロデュース論」×「HAGOROMO 水鏡の天女」メイキング講座	40人
1月30日	379 講義室	日韓学生交流セミナー	50人
1月9日 1月27日 2月3日	176 大講義室	イブニングレクチャー 「SUAC×中西哲生」 「SUAC×原 研哉」 「SUAC×小杉孝一」	460人
2月1日 2月3日 2月4日 2月5日 2月7日	西ギャラリー 講堂 280 講義室 377 講義室 瞑想空間	メディアデザインウィーク 2015 ・映画の上映と映画についてのトーク ・広告アートディレクションの可能性 ・演奏をデザインする ・アニメの演出の仕事 ・プロダクトデザインの新しい流れ	300人
2月8日	シネマイーラ	メディアデザインウィーク 2015 クロージングイベント講演「CGによる映像制作」	100人
2月9日	食堂	研究成果報告会 食文化シンポジウム 「食文化と電気釜」	60人
2月28日 3月1日	講堂	第1回全国アートマネジメント会議	120人
3月9日	493 講義室 (テーマ演習室)	読書の質の向上と学校図書館	12人

・公開講座

SUAC前期公開講座：テーマ「和食の世界」

実施日	場所(会場)	講座タイトル	聴講者数
6月21日	176 講義室	世界無形文化遺産となった和食	142人
6月28日		和食とユニバーサルデザイン	109人
7月5日		日本食と食文化	142人
7月12日		家庭の和食	116人
7月19日		日本食文化の変遷と今後の展望	101人
総聴講者数			610人

SUAC後期公開講座：テーマ「創造都市『ボローニャの魅力を探る』」

実施日	場所(会場)	講座タイトル	聴講者数
12月6日	281 講義室	「ものづくり」都市ボローニャの秘密	70人
		絵本のまち ブックフェアとIBBY (国際児童図書評議会)	
12月20日	378 講義室	17世紀ローマとボローニャ派の画家たち	73人
		大学都市ボローニャの歴史と現在	
		ボローニャの文化と文化政策	
総聴講者数			143人

・特別講演会

佐藤 優 招聘客員教授 特別講演「生きる力」

実施日	場所(会場)	内容	参加者数
11月1日	176 講義室	【第一部】 特別講演会「生きる力」 (講師：佐藤優 招聘客員教授) 【第二部】 熊倉功夫学長、佐藤客員教授、磯田道史 教授による座談会	220人

・公開工房

夏季公開工房

実施日	場所(会場)	講座内容	参加者数
8月30日	自由創造工房 デッサン室	銅版画を作成しよう	7人
		石膏デッサンを描いてみよう	10人
		揺れる彫刻モビールづくり	5人
		テキスタイル(手織り)	7人
8月31日	自由創造工房 デッサン室	銅版画を作成しよう	7人
		石膏デッサンを描いてみよう	10人
総参加者数			46人

春季公開工房

実施日	場所(会場)	講座内容	参加者数
3月21日	自由創造工房 デッサン室	銅版画を作成しよう	5人
		石膏デッサンを描いてみよう	10人
		テキスタイル(手織り)	8人
3月22日	自由創造工房 デッサン室	銅版画を作成しよう	5人
		石膏デッサンを描いてみよう	10人
総参加者数			38人



イ 産学官連携の推進

・第7回研究・開発成果発表会への参加

実施日	6月6日(金)
場所(会場)	静岡県工業技術研究所浜松工業技術支援センター (浜松市北区新都田1-3-3)
発表内容	国産米粉を活用した非常食の開発に関する研究
出展内容	研究開発品(コロコロラスク)の展示、試食等
参加者数	151人
主催	(主催)静岡県浜松工業技術支援センター、浜松センター協議会 (共催)、静岡大学、静岡文化芸術大学ほか

・第8回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2014 への出展

実施日	7月23日~24日
場所(会場)	アクトシティ浜松 展示イベントホール
出展内容	大学紹介パネル展示、各種パンフレット配布
参加者数	参加企業等 252 団体 (294 ブース)、来場者数延べ 8,300 人
主催	浜松商工会議所、浜松信用金庫

・UD+in はままつ 2014 「パーソナルモビリティ展示体験会」

実施日	8月24日
場所(会場)	浜松市ギャラリーモール「ソラモ」
出展内容	UDに関する取組紹介、パネル展示、大学紹介等
参加者数	企業、自治体、大学等 15 団体参加、来場者数延べ 3,200 人
主催	UD+in はままつ実行委員会、静岡県、浜松市、静岡文化芸術大学

ウ 地域文化事業の実施、協力

・室内楽演奏会 2014

実施日	場所(会場)	内容	参加者数
5月16日	233 講義室	広報戦略講座 講義・グループワーク	82人
5月17日	280 講義室		
7月16日	創造の丘	楽しいチンドン〜ジャパニカーニバル〜	221人
7月20日	自由創造工房 総合演習室	北インド音楽を紡ぐ ー伝統楽器サロードとタブラの共演ー ・レクチャー&ワークショップ ・コンサート	117人

実施日	場所(会場)	内容	参加者数
11月15日	中央ホール 総合演習室 280講義室 文化・芸術研究 センターホール 自由創造工房	バンバン！ケンバン♪はままつ ・大正琴コンサート ・マリンバワークショップ、コンサート ・鍵ハモクラブミニコンサート ・電子楽器シンポジウム ・アコーディオンコンサート ・アップライトピアノコンサート	225人
12月15日	西ギャラリー	スイーツコンサート2014 ・鍵盤ハーモニカほかコンサート	40人
総参加者数			685人

・オペラ「ラ・ボエーム」

実施日	9月4日
場所(会場)	講堂
内容	平成25年度の「カヴァレリア・ルスティカーナ」に続き、クオーレ・ド・オペラの制作によるオペラ「ラ・ボエーム」を本学講堂で上演し、学生のアートマネジメントの実習に寄与するとともに、学生及び市民に本格的なイタリア・オペラを鑑賞する機会を提供した。 【顧問】(副学長)高田 和文
参加者数	158人

・静岡舞台芸術センター(SPAC)との連携による現代劇公演

実施日	10月2日
場所(会場)	講堂
内容	舞台演劇：《近代能楽集 綾の鼓》 作：三島由紀夫 演出：宮城 聡 出演：〈SPAC〉：石井萌水、大高浩一、桜内結う、ほか 〈SUAC〉：星万莉子(芸術文化学科)、山浦一紗(芸術文化学科)
参加者数	350人

・薪能

実施日	10月8日～9日
場所(会場)	講堂
内容	第一夜：能講座 第1部 『海士』あらすじ解説 第2部 泉 嘉夫氏(観世流能楽師)による講演 第3部 熊倉学長による講演 第二夜：薪能公演 狂言 和泉流 「金岡」 仕舞 観世流 「井筒」、「融」、「土蜘蛛」 独吟 宝生流 「歌占」 仕舞 観世流 「隅田川」 能 観世流 「海士」懐中之舞
参加者数	延べ633人

・ Festa Julina na SUAC (フェスタ・ジュリーナ・ナ・スアック)

実施日	7月12日
場所(会場)	出会いの広場
内容	<p>多文化共生分野の研究における地域貢献イベントとして、地域の皆さんにブラジルという国を身近に知ってもらうため、「フェスタ・ジュリーナ・ナ・スアック」を開催した。</p> <p>主催：静岡文化芸術大学、日伯交流協会</p> <p>内容：・ブラジル人学校生徒のダンス ・ウイラプル・プロジェクトによる音楽演奏 ・ブラジル人学生によるキャンパスツアー ・みんなで踊ろう！ 他</p>
参加者数	400人

・ユニバーサルデザイン絵本コンクール2014及び作品展示

実施日	10月14日、11月8日～16日、2月16日～20日
場所(会場)	西ギャラリー (作品展示場所：西ギャラリー、浜松市役所市民ロビー)
内容	<p>全国から応募された作品(UD絵本)を審査(10月14日審査会・11月8日表彰式)し、受賞作品の選出をした。</p> <p>11月8日から16日までは、学内(西ギャラリー)、2月16日から20日までは浜松市役所市民ロビーにおいて受賞作品の展示を行った。</p> <p>(参考) 平成27年3月11日から4月23日まで静岡県立中央図書館において作品展示を実施。</p>
参加者数	1,500人

・学生自主企画

実施日	場所(会場)	内容	参加者数
7月2日	西ギャラリー	SUAC×落語 ・桂文治 落語会	110人
11月15日	講堂	たっぷり音楽つめあわせ ・サイレント映画&ピアノ演奏	80人

エ その他

文化・芸術研究センターニューズレター「文化と芸術」の発行

文化・芸術研究センターを拠点として行っている、本学の研究成果や活動を紹介するニューズレターとして「文化と芸術」を年2回(9月、3月・各1,200部)発行した。

(2) 国際交流事業

国際交流の推進を図るため、次の事業を展開した。

大学名 (国名)	事業内容
湖西 (ホソ) 大学校 (韓国)	交換留学受入・派遣 <受入> 26.4~26.8/1人 26.10~27.8/1人 26.10~27.3/1人 国際交流事業 (韓国文化体験プログラム) 訪問団派遣 26.8.22~26.8.31 学生10名、教職員3名
浙江大學城市学院 (中国)	交換留学受入・派遣 <受入> 26 前期~26 後期/3人 <派遣> 26.9~27.1/2人 26.9~27.7/1人 日中学生交流会 26.9.22~9.26 学生7人、教職員2人
フィンドレー大学 (アメリカ)	留学生派遣 26.8~26.12/1人
フランス・ブルゴーニュ大学国際 フランス語センター (フランス)	留学生派遣 26.9~27.1/2人 27.2~27.5/2人
アイルランガ大学 (インドネシア)	留学生派遣 26.9~27.2/2人

(3) 大学の地域開放事業

本学の設置理念である“開かれた大学”の実現を図るため、次の事業を実施した。

ア 図書館・情報センターの開放

実施日	月曜日～土曜日 (原則)
実施内容	利用対象者 20才以上の静岡県内在住・在勤者等 利用時間 平日：8時45分～20時、土曜日：10時～16時 利用範囲 図書の見学、貸出等 登録者数 577人 (平成27年3月末現在) 利用者数 4,794人/年 貸出冊数 2,066冊/年

イ 自由創造工房の開放

実施日	月曜日～金曜日 (原則)
実施内容	利用対象者：中学生以上 活用方法：テキスタイル、木工、PCソフト活用等による創作活動 会員登録者数：7人 (平成27年3月末現在、会員期限有効者) ※夏季及び春季に本学教員による公開工房を実施 (参加者数：夏季46人、春季38人)

## ウ 施設見学

小・中・高校生、市民、学外機関等を対象に年間を通じて施設見学を実施するとともに、「県民の日」事業として大学施設を公開した。平成 26 年度には 1,896 人の見学があり、うち小・中学校の総合学習（ユニバーサルデザイン施設見学）の場として、11 校から 804 人（引率者除く）の児童・生徒を受け入れた。

## 7 図書館・情報センター事業

「静岡文化芸術大学図書館・情報センター資料収集方針」に基づき資料を収集したほか、図書館・情報センターだより「温故知新」を刊行し、県内公立図書館での配布等を実施した。また、学部新入生全員を対象に必修科目「文化芸術総合演習」（導入教育）の中で「資料探索法」を行い、図書館の活用法やデータベースの利用法についての講義及び館内ツアー等を実施したほか、学内イベント関連等の企画展示を行った。

運営面では、開館時間の延長（開館時刻の繰り上げ・閉館時刻の繰り下げ）を引き続き実施したほか、学生証・教職員証および図書館利用者カードを IC カード化した。また、PC 貸出カウンターおよび自動貸出返却機設置台の車椅子対応化工事を行い、館内のユニバーサルデザインを進めた。

### ・図書館・情報センター資料所蔵数 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

区 分	図書 (冊)	視聴覚資料 (点)	雑 誌 (種)
日本語資料	198,138	6,378	2,625
外国語資料	25,586	834	338
合 計	223,724	7,212	2,963

### ・図書館・情報センター利用状況 (平成 26 年度)

区 分	入館者数 (人)	貸出冊数 (冊)	開館日数 (日)
総 数	111,243	35,566	282
(うち学生)	98,920	29,069	—

### ・他の図書館との相互協力 (平成 26 年度)

区 分	資料貸借 (件)	文献複写 (件)	備 考
依 頼	109	616	—
受 付	97	221	—
合 計	206	837	—

## 8 英語・中国語教育センター事業

### (1) 英語・中国語の学習支援活動

次のとおり学習支援活動を実施した。

#### ア 英語・中国語教育センターイベント

各種学習サポート、Book Club、英語ランチ、中国語コーナー等

#### イ インターナショナル・コミュニティー・フォーラム

浜松在住の外国籍の方をゲストスピーカーとして招き、英語による各国の紹介、ディスカッション、質疑応答を行った。

ウ センター・ニュースレター等の発行  
ニュースレター、イベントカレンダー（毎月）、センターパンフレット（年度初め）の発行を行った。

エ 検定試験対策

TOEICテスト対策として試験の準備・対策を行った。また、中国語検定試験対策として個別指導等を行った。

オ セミナー・個別相談

随時、留学準備のためのセミナーや、科目支援等の個別相談を行った。

カ 各種コンテスト参加

・英語 模擬国連大会

・中国語 第三回「中国語で遊ぼう！梅花杯中国語」

キ デザイン・ゲート

専門科目内での英語プログラムの試行、他大学の専門科目への英語教育導入事例の調査等を行った。

## (2) その他の活動

ア 小中学校教育支援

浜松市内の小学校・中学校への訪問及び小学校の来学により交流を行った。

イ インド大学生訪日団との交流

平成26年6月6日にインド学生訪日団と英語でコミュニケーションを取り合いながらインドと日本について情報交換を行い、共同でパワポを作成しプレゼンテーションを行うなどの交流を行った。

ウ 大学生ディベート大会

本学、静岡大学、静岡県立大学の学生によるグローバル問題をテーマとした、英語でのディベート大会を行った。

## 9 情報システム等の整備

### (1) 学内ネットワーク装置の更新

学内ネットワークサーバ、ネットワーク機器等の更新を行い、教員 Web サイトの学外サイト移設などを行った。

### (2) 事務システムの更新

学籍・教務情報システム等事務システムのカスタマイズを行い、画面の修正や機能の強化など、改修を行った。

## 10 自己点検・評価の実施

### (1) 全学的な点検・評価

3年ごとに行うこととしている全学的な自己点検・評価を平成27年度に実施するに当たり、平成28年度に受審予定の大学学位授与機構による認証評価を踏まえ、その実施方法について検討した。

### (2) 学生による授業評価

学生による授業アンケートを前期・後期に実施し、その結果を教員にフィードバックするなど授業改善を図った。また、学生の授業評価に対するコメント集を作成し、学生の授業に対する姿勢・態度等への反省や、授業への期待・意欲を高める機会とした。

・平成 26 年度後期分の概要

区分	内 容 等
対象科目	後期科目 304 科目のうち 301 科目（ゼミ、卒論等を除く）（実施率 99.0%）
質問項目	「学生自身の取組」「授業の内容や理解」「学習の成果」「授業の運営」「総合評価」「自由記述」など 10 問程度
回答率	74.1%
総合評価	4.2 < 5 点満点での評価による >

## 11 SD（スタッフ・ディベロップメント）への取組み

事務職員の研究・研修助成制度の活用促進、公立大学協会や日本能率協会等の外部団体主催の研修会に積極的に参加してSD活動の推進を図った。

## 12 防災対策の実施

### （1）防災訓練の実施

大規模津波の発生を想定し、学生、教職員、来学者等を対象に、校舎屋上へ誘導する避難訓練など実践的な防災訓練を実施した。

### （2）安否確認システムの運用

平成 25 年度に導入した安否確認システムを防災訓練において活用、検証しながら、災害時における学生・教職員の安否状況の把握や的確な情報提供を可能とする体制を継続した。

## 13 ハラスメント防止対策の実施

ハラスメント防止啓発リーフレットを全学生及び全教職員に配布して、防止意識の啓発を行うとともに、教員、事務職員それぞれを対象とした演習形式等による研修会を実施して、防止意識の向上を図った。

平成 26 年度 事業別執行額の状況

(単位：千円)

大区分	中区分	事業区分	決算額	内容
教育研究経費	教育経費	入試経費	15,830	募集要項・試験問題作成費、試験実施経費
		FD 活動経費	1,724	学科別研修会開催経費ほか
		学生経費	79,622	教材購入費、教育備品修繕費ほか
		教育施設等修繕・管理経費	196,116	水道光熱費、設備管理委託費ほか
		工房系教室情報システム経費	91,286	情報システム機器リース経費
		学生支援経費	30,828	授業料減免、奨学金給付経費ほか
		就職支援事業費	20,967	企業等訪問、就職ガイダンス、開催経費ほか
		地域貢献事業経費	9,371	自由創造工房開放、公開講座、実施経費ほか
		国際交流事業費	14,005	外国大学との交流事業経費ほか
	研究経費	教員研究費	129,926	専任教員の教員研究費ほか
		文化・芸術研究センター管理運営経費	1,055	印刷物発行経費、センター管理経費ほか
		教員研修費	2,045	専任教員の国内外での研修費
	教育研究支援経費	図書館経費	34,425	図書館施設管理費、図書購入費ほか
		情報システム経費	112,407	情報システムのメンテナンスほか
	教員人件費	教員人件費	908,104	専任教員等の人件費
		非常勤教員経費	56,363	非常勤講師等の報酬
一般管理費	管理経費	大学広報経費	43,039	大学パンフレット作成費、広告、掲載経費ほか
		教職員住宅経費	17,655	職員住宅維持管理費、借上住宅賃借料ほか
		施設・設備等修繕・管理経費	137,009	施設修繕費、警備、設備管理、委託費ほか
		大学運営一般管理費	48,387	事務局消耗品、電話料、複写機、使用料ほか
		学生募集経費	13,924	受験情報誌等広告、説明会開催経費ほか
	役員報酬	53,653	常勤役員及び非常勤役員等の人件費	
	職員人件費	498,671	常勤職員等の人件費	
受託研究等経費			11,226	学外機関からの受託研究、受託事業経費
合計			2,527,635	

\*表示単位について

金額は千円未満を四捨五入で表示しているため、合計金額と一致しないことがある。



(参考) 静岡国際オペラコンクールに係る事務の実施

第7回静岡国際オペラコンクールを下記のとおり開催

ア 開催期間 平成26年11月8日(土)～11月20日(木)

(予選)11月8日(土)～13日(木)

(本選)11月16日(日)

(入賞者記念コンサート)11月18日(火)、20日(木)

イ 会場 (予選・本選)アクトシティ浜松大ホール

(入賞者記念コンサート)静岡音楽館AOI (静岡市)

浜離宮朝日ホール (東京都中央区)

ウ 入賞者 第1位/オーディエンス賞 鳴原 奈美

第2位 ユン・キフン

第3位 アナスタシア・コージュハロバ

入選/三浦環特別賞 小堀 勇介

入選 藤井 玲南

入選 大音 絵莉

エ 入場者数 コンクール 3,288人

入賞者記念コンサート 631人

総入場者数 3,919人